

## 平成29年度 子育て支援に関するアンケート調査

## 1 アンケート配布・回収数

	配布数	回収数	回収率
29年度	2,463	1,616	65.6%
28年度	2,490	1,285	51.6%
27年度	2,480	1,038	41.8%
26年度	2,310	1,088	47.1%
25年度	6,000	3,618	60.3%

## 2 アンケート調査対象者

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| (1) 公立・私立保育所 (586 部)     | (2) 児童館 (300 部)     |
| (3) 公立・私立幼稚園 (680 部)     | (4) 認証保育所 (40 部)    |
| (5) 公立・私立学童保育クラブ (364 部) | (6) 認定こども園 (140 部)  |
| (7) 家庭福祉員 (96 部)         | (8) 小規模保育事業所 (17 部) |
| (9) 子育てひろば (240 部)       |                     |

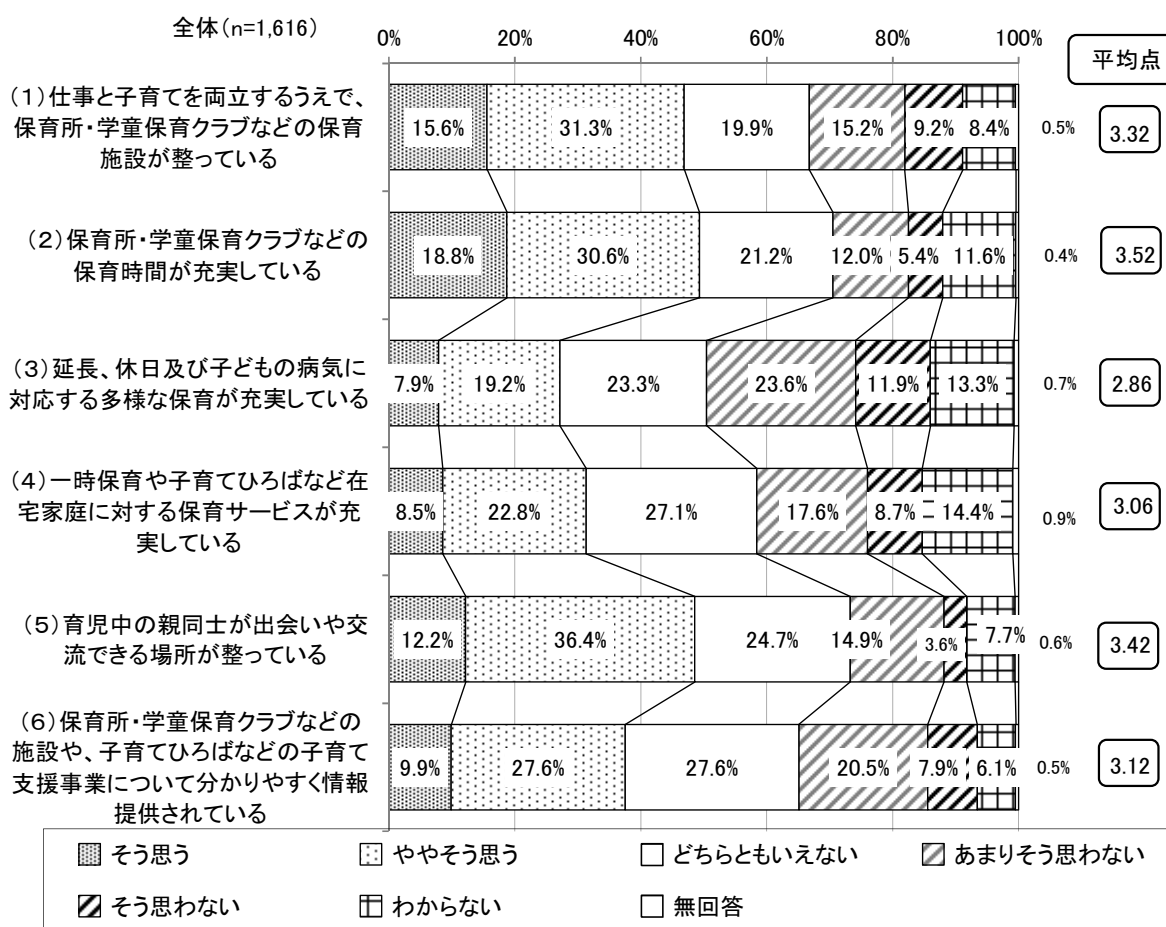
## 3 調査結果の見方

- (1) 図中の「n」は、当該設問の対象者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の対象者数より小さくなります。
- (2) 集計した数値(%)は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- (3) 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- (4) アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表では、要約して表現しています。
- (5) 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。
- (6) 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- (7) 本文は、基本目標全体と、それぞれの目標の経年変化で分析しています。  
 【全体】各選択肢の回答比率を算出するほか、「そう思う」を5点、「ややそう思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点にそれぞれ配点し、平均得点を算出しました。  
 【経年変化】例年実施している同様の調査5か年分の比較を掲載しています。

## 4 調査結果

### 基本目標1. のびのび子育て！に関する質問【全体】

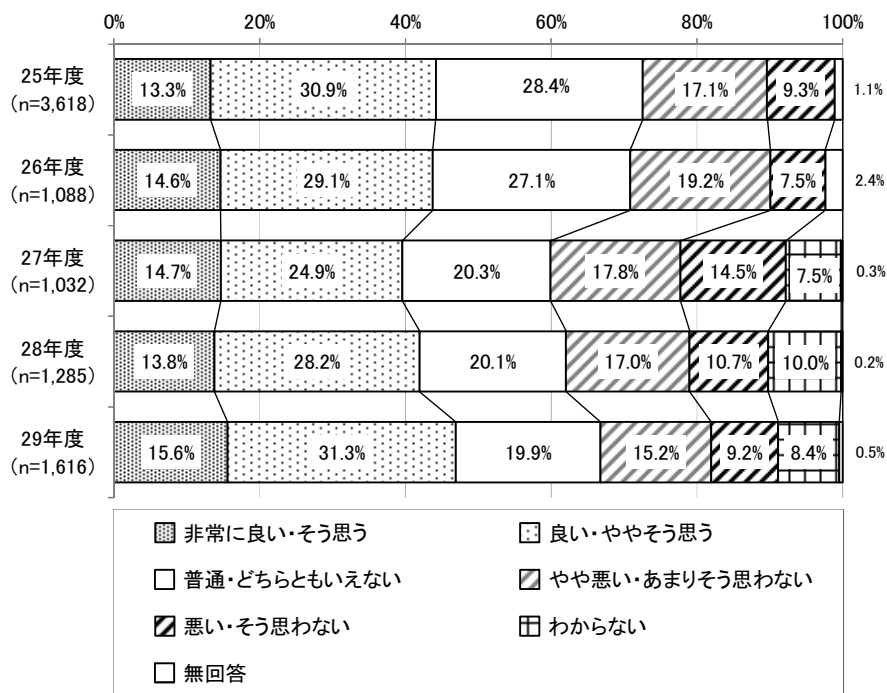
- (1) 仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている。
- (2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。
- (3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している。
- (4) 一時保育や子育てひろばなど在宅家庭に対する保育サービスが充実している。
- (5) 育児中の親同士が会いや交流できる場所が整っている。
- (6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。



基本目標1の評価は、「(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している」が3.52点で最も高く、「(3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している」が2.86点で最も低くなっています。

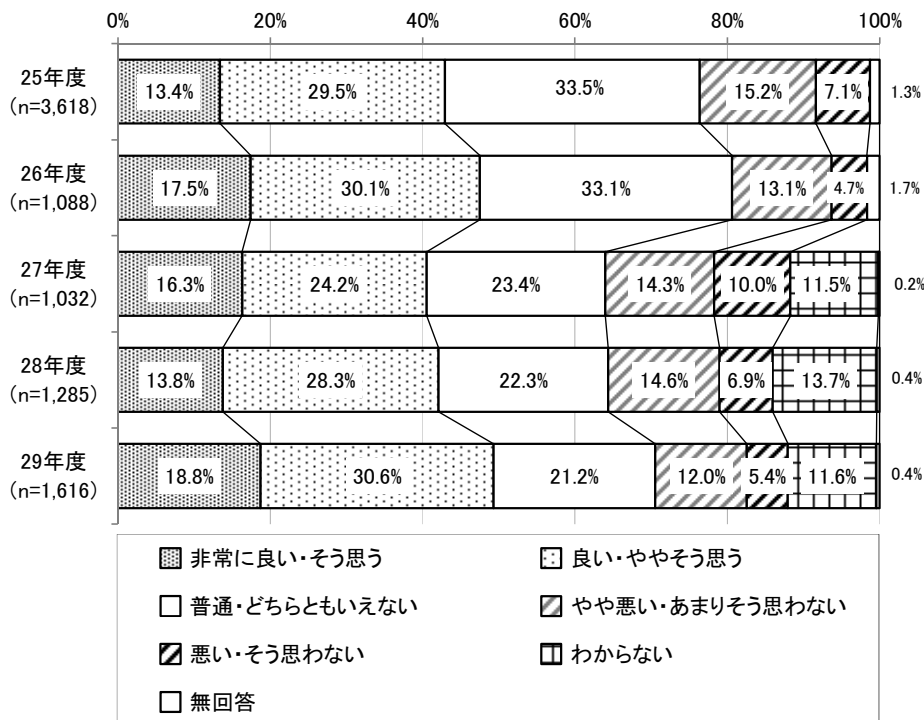
### 基本目標 1. のびのび子育て！に関する質問【経年変化】

(1) 仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている。



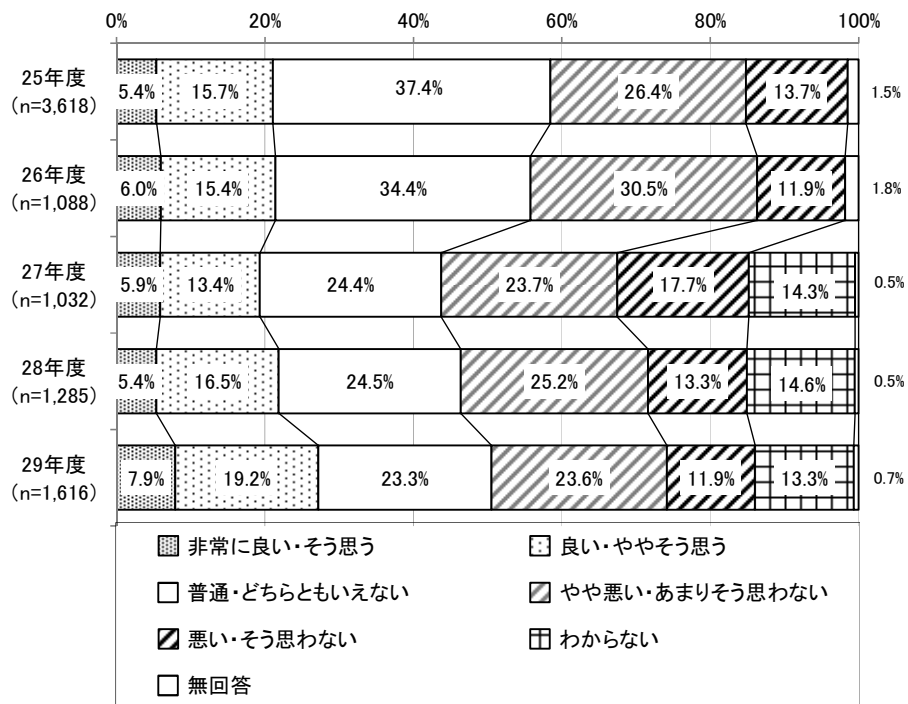
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 4.9 ポイント増加しています。

(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。



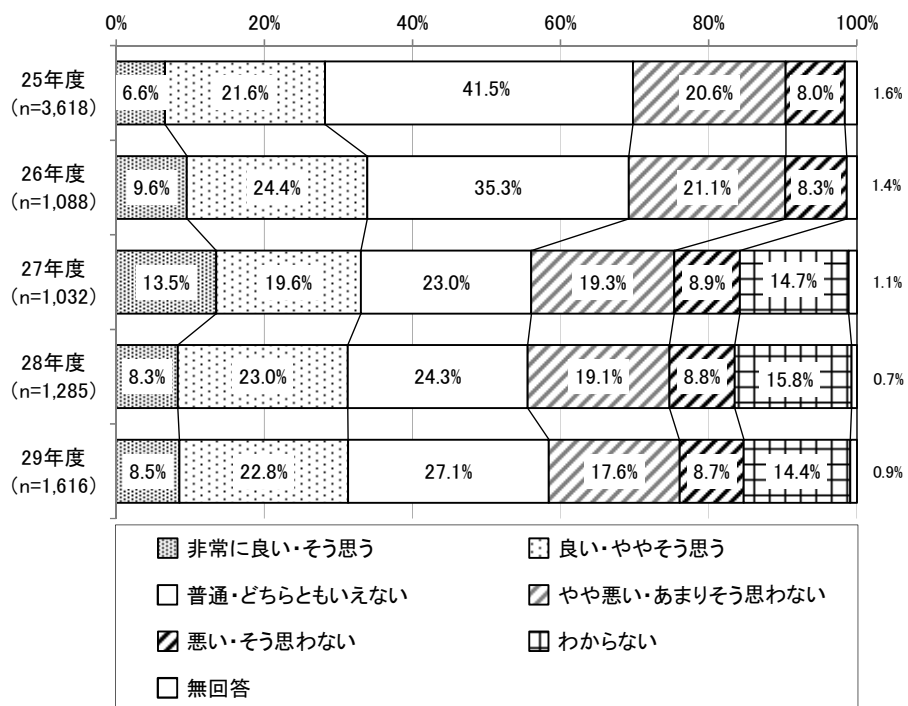
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は 49.4%です。「やや悪い・あまりそう思わない」、「悪い・そう思わない」の合計は昨年度より約 4 ポイント減少しました。

(3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している。



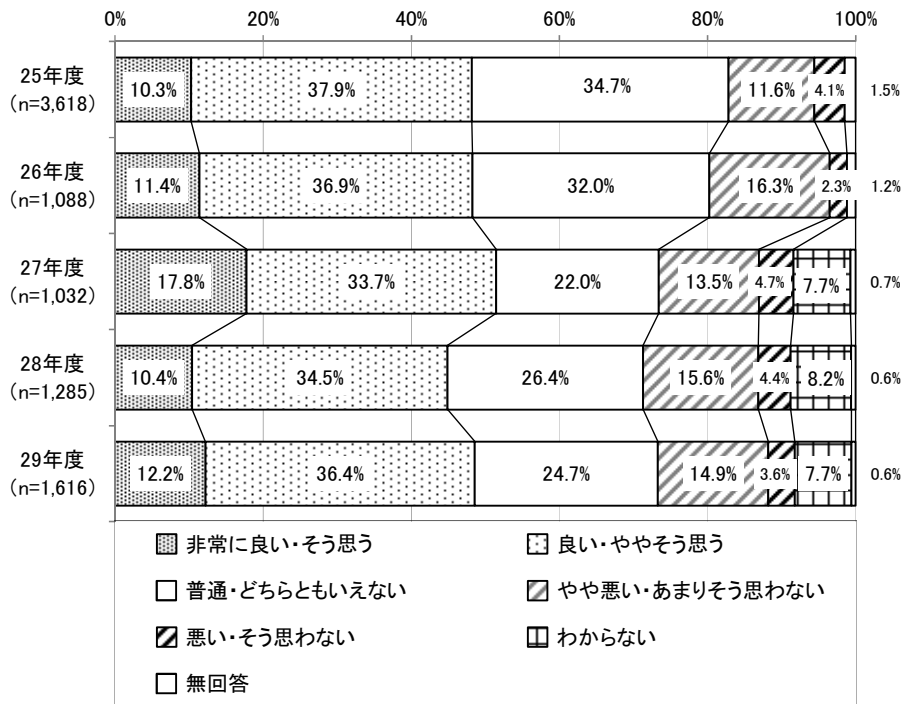
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 5.2 ポイント増加しています。

(4) 一時保育や子育てひろばなど在宅家庭に対する保育サービスが充実している。



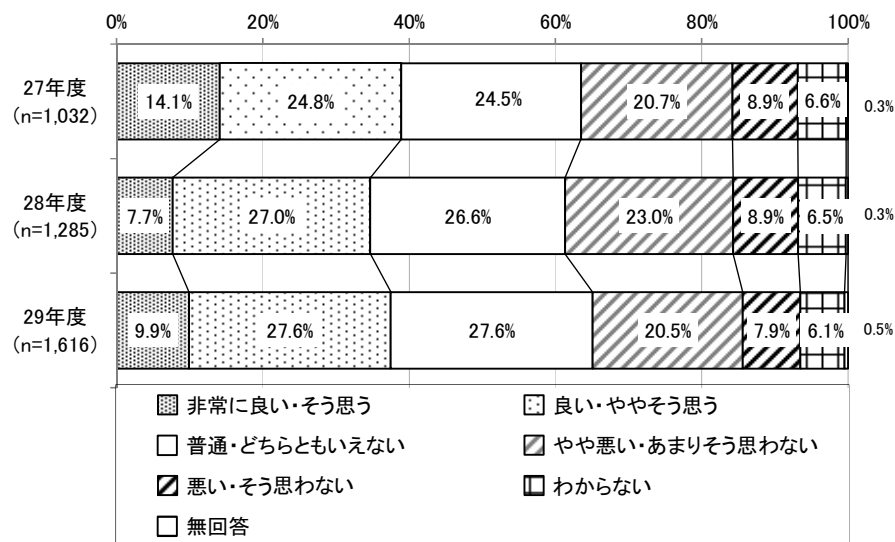
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度と同じ 31.3%です。

(5) 育児中の親同士が会いや交流できる場所が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より約 30 ポイント高くなっています。

(6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。

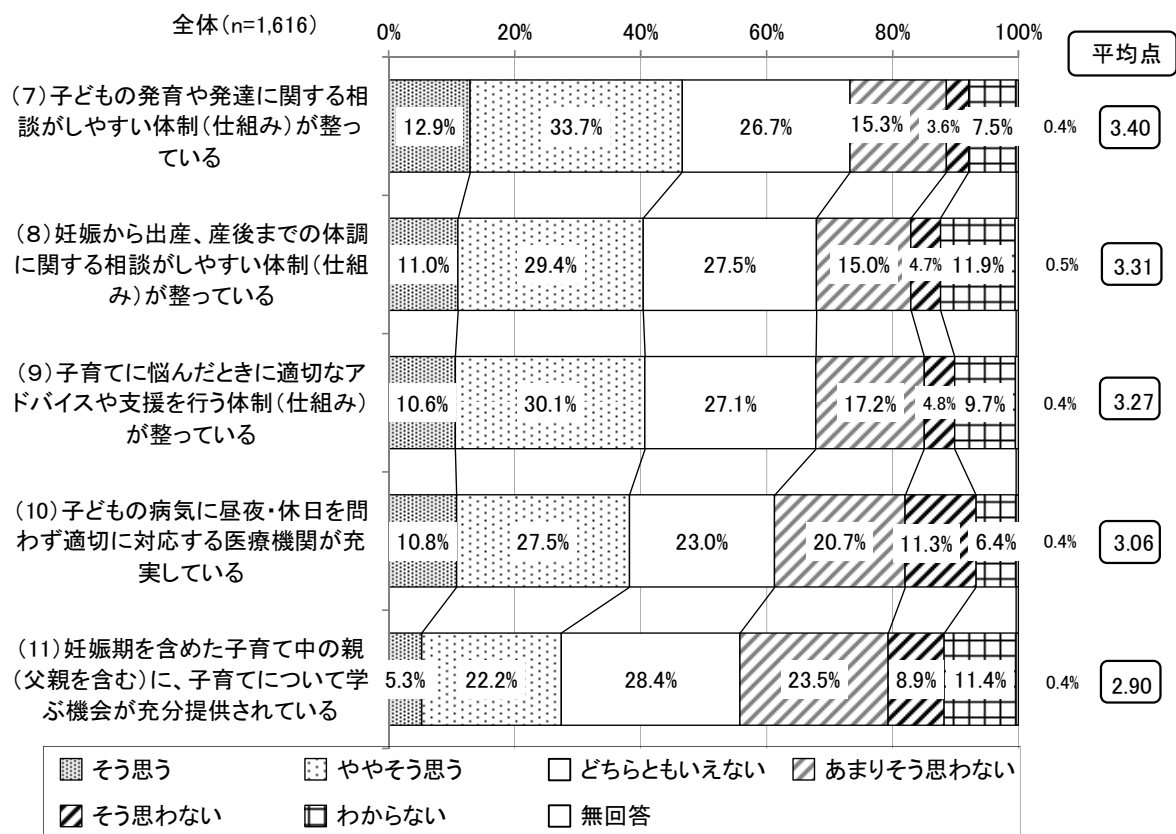


「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より約 9 ポイント高くなっています。

なお、この設問は平成 27 年度新規質問項目のため、平成 25 年度～平成 26 年度は調査を行っていません。

## 基本目標2. すこやか子育て！に関する質問【全体】

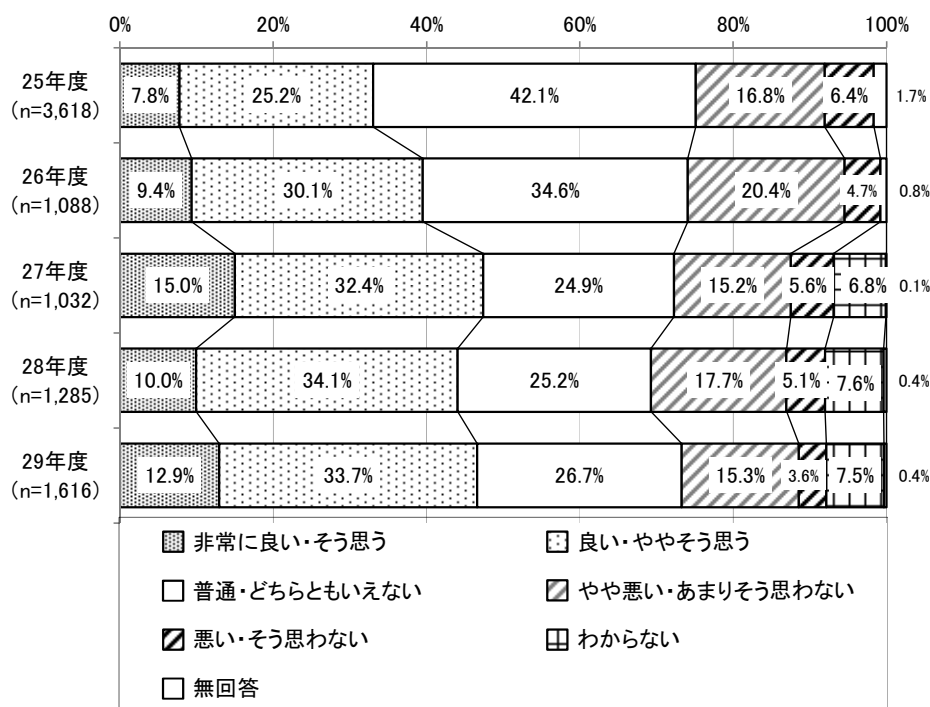
- (7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。  
 (8) 妊娠から出産、産後までの体調に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。  
 (9) 子育てに悩んだときに適切なアドバイスや支援を行う体制（仕組み）が整っている。  
 (10) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。  
 (11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている。



基本目標2の評価は、「(7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている」が3.40点で最も高く、「(11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている」が2.90点で最も低くなっています。

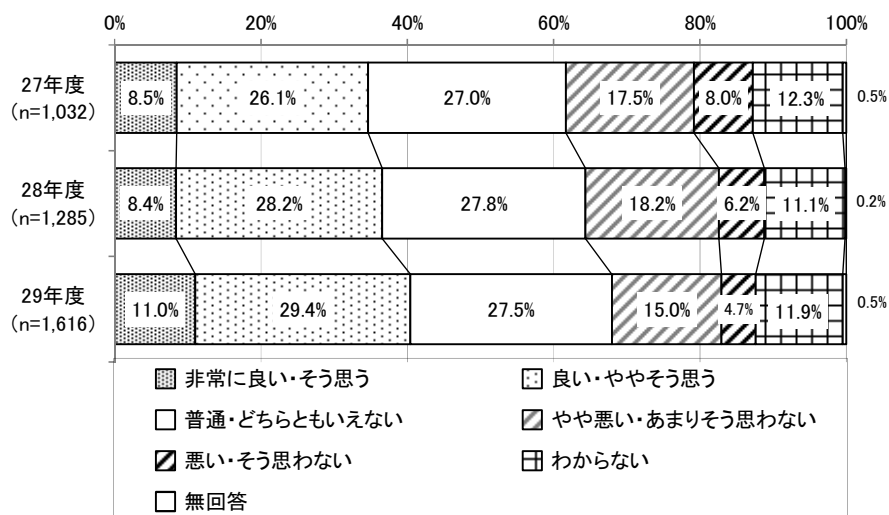
## 基本目標2. すこやか子育て！に関する質問【経年変化】

(7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。



「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、昨年度から約4ポイント減少しています。

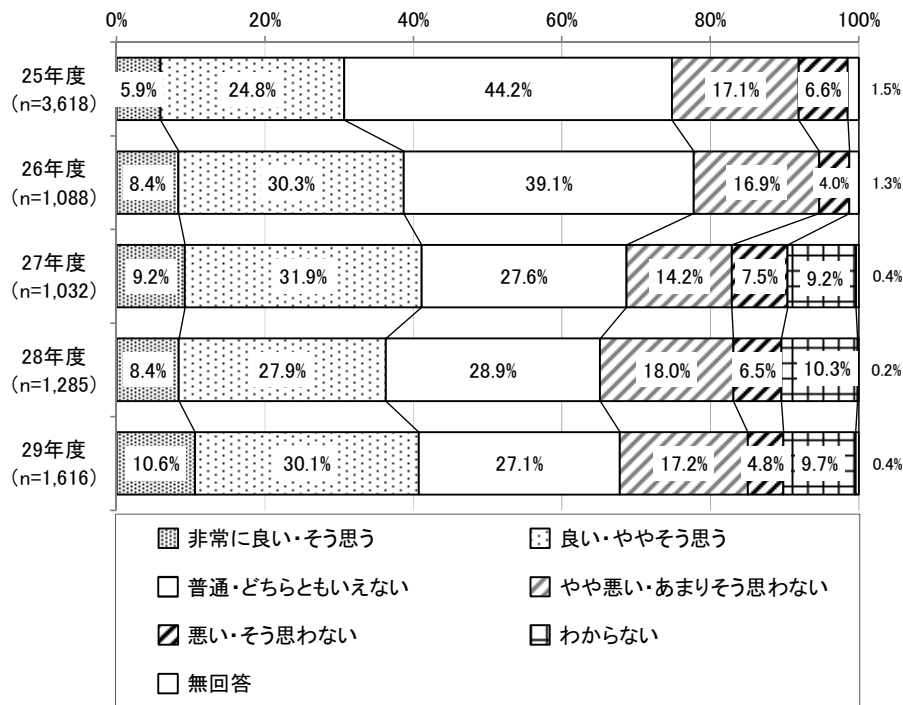
(8) 妊娠から出産、産後までの体調に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より約20ポイント高くなっています。

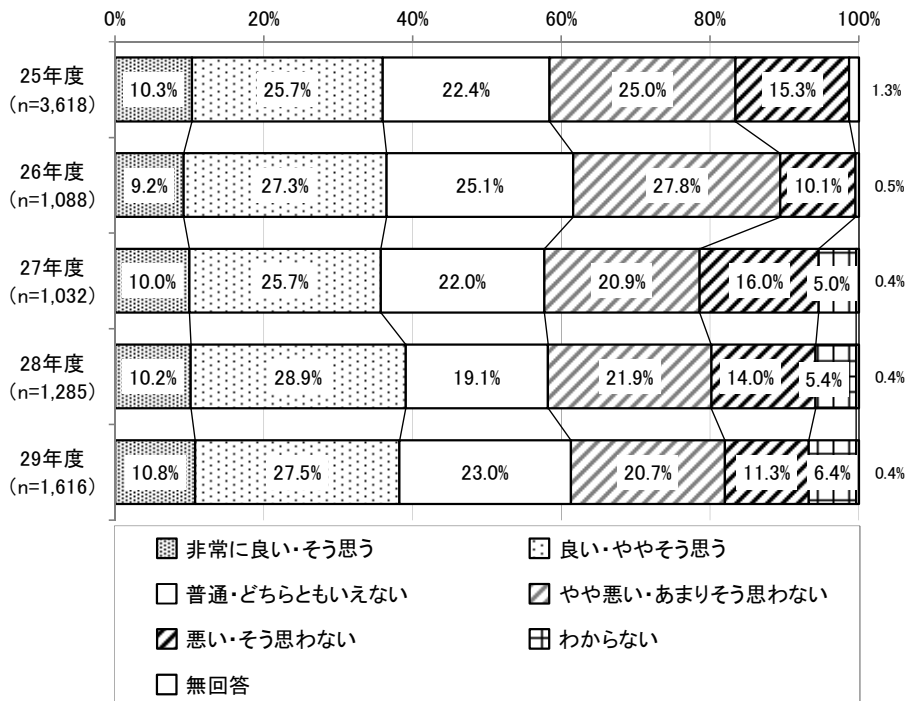
なお、この設問は平成27年度新規質問項目のため、平成25年度～平成26年度は調査を行っていません。

(9) 子育てに悩んだときに適切なアドバイスや支援を行う体制（仕組み）が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より約 19 ポイント高くなっています。

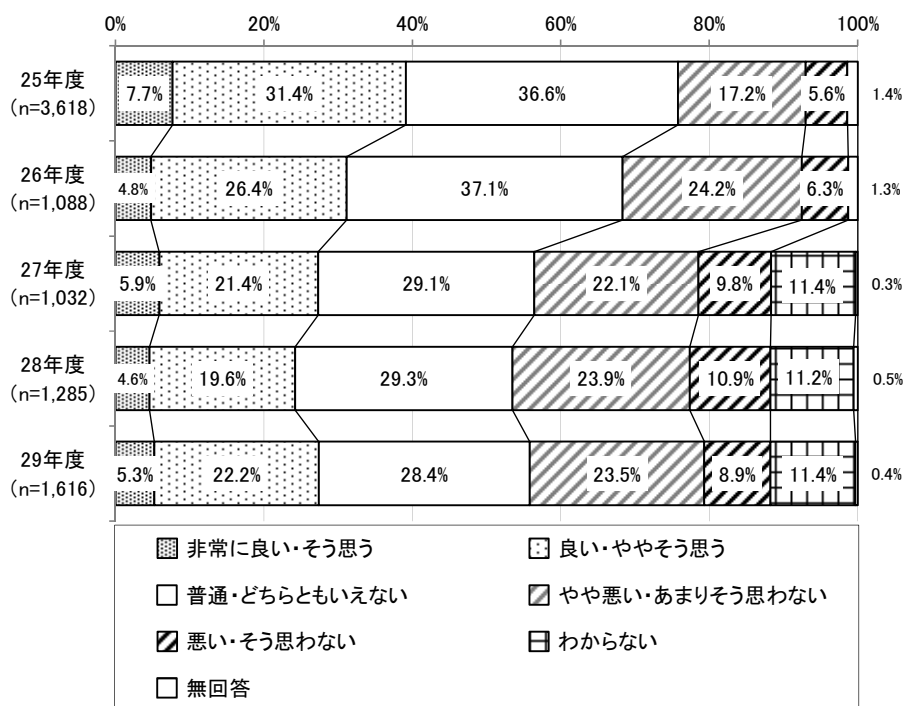
(10) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」より約 6 ポイント多くなっています。



(11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている。

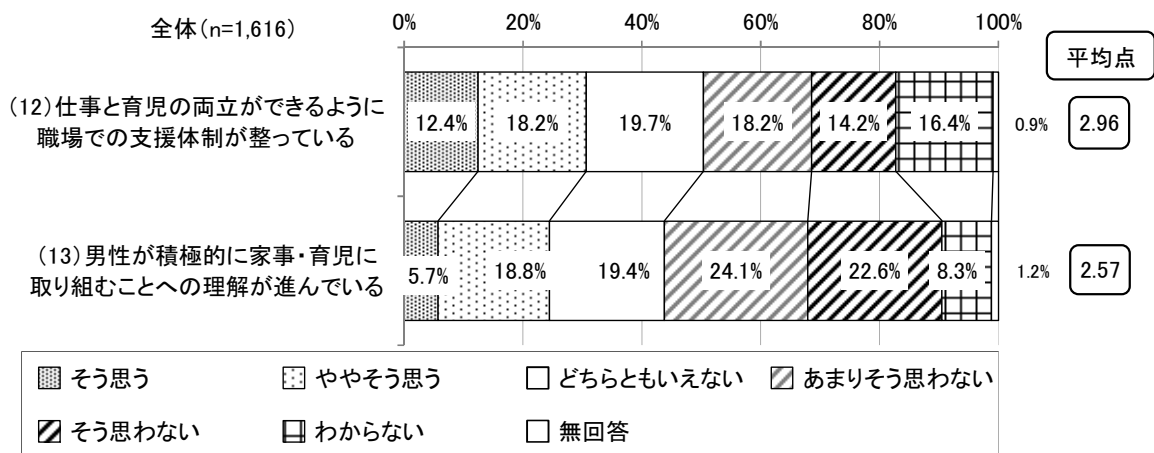


「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は 27.5%で、昨年度と比べて約 3 ポイント高くなっています。

基本目標3. いきいき子育て！に関する質問【全体】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

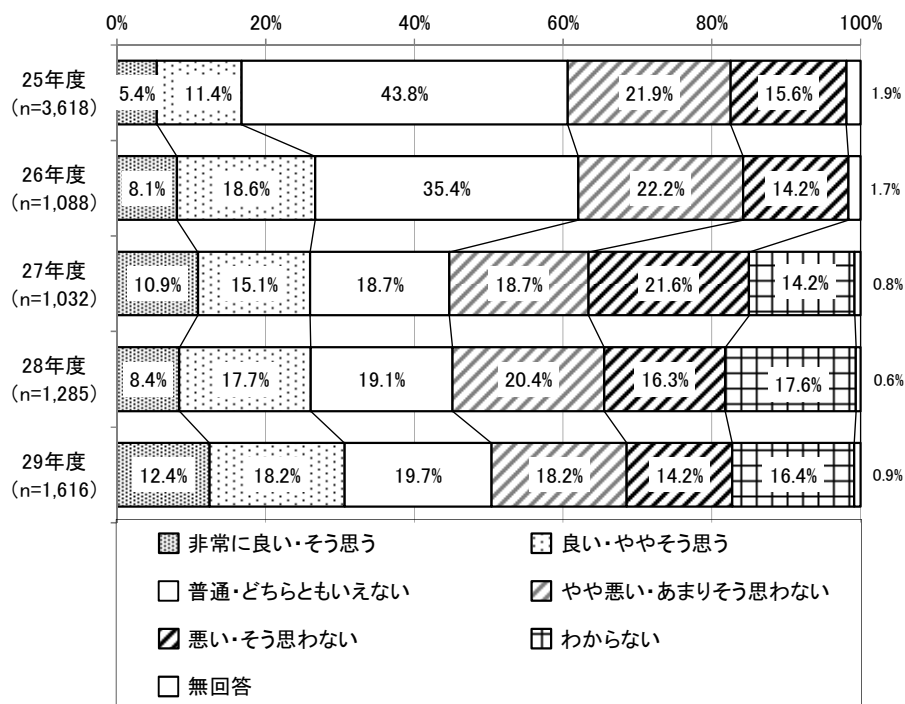
(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。



基本目標3の評価は、「(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている」の平均点が3点を下回りました。また、「(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる」も平均点が3点を下回りました。

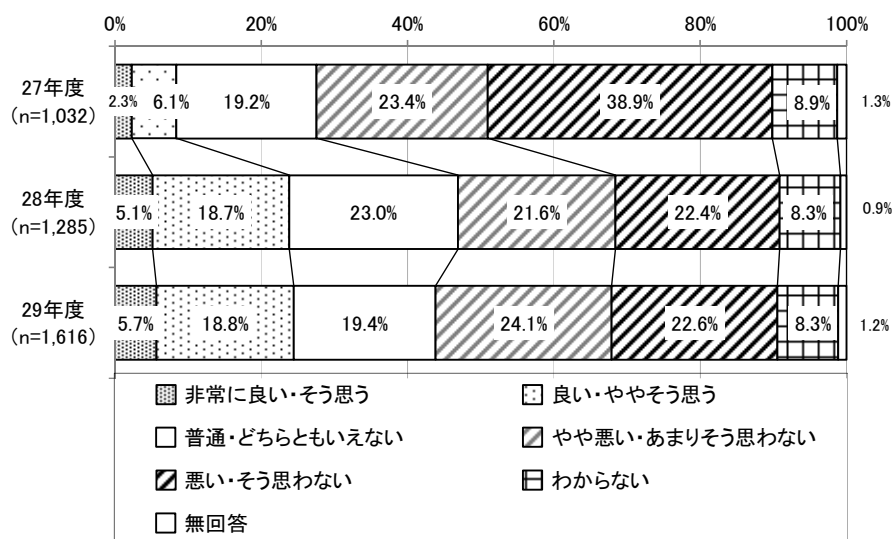
### 基本目標3. いきいき子育て！【経年変化】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は30%を超えています。

(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。

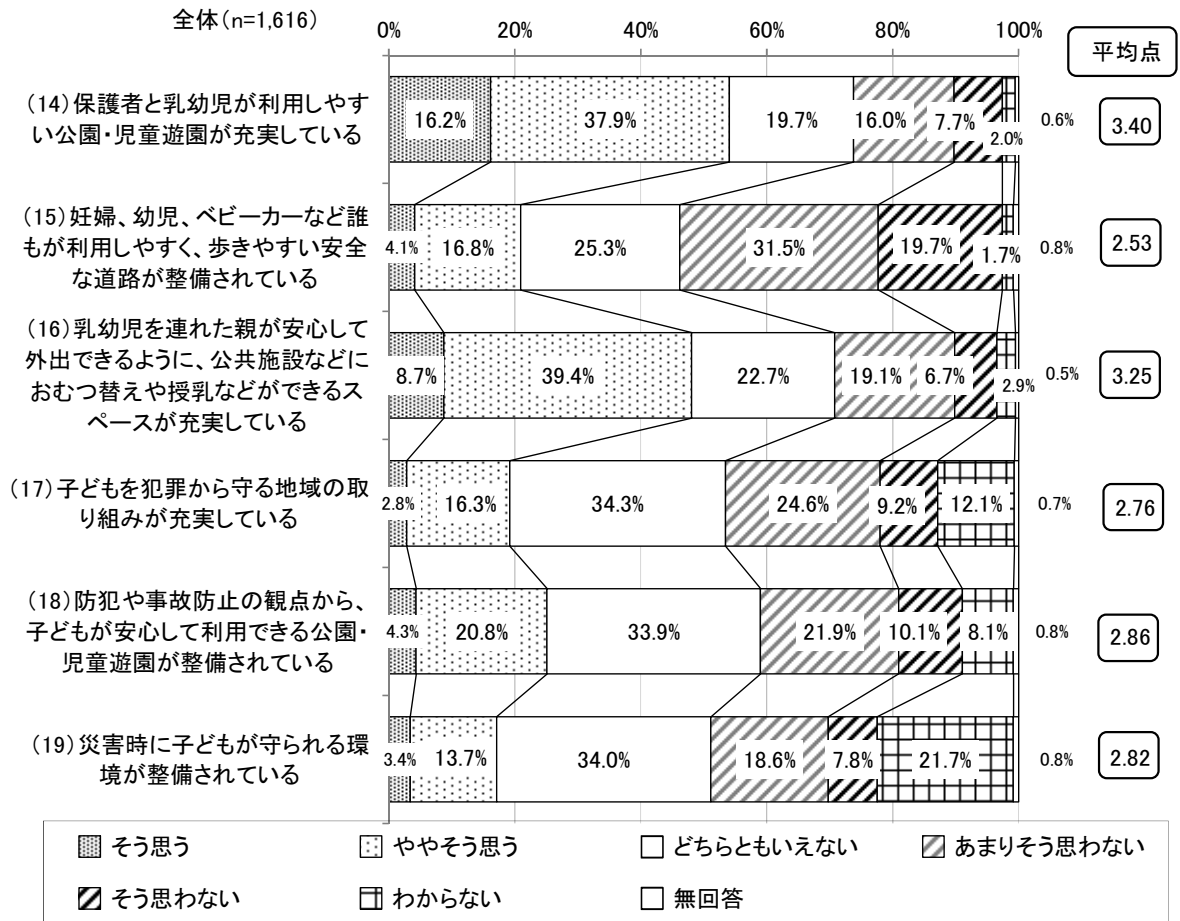


「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は24.5%で、昨年度より微増しています。

なお、この設問は平成27年度新規質問項目のため、平成25年度～平成26年度は調査を行っていません。

☆【基本目標4. あんしん子育て！に関する質問【全体】

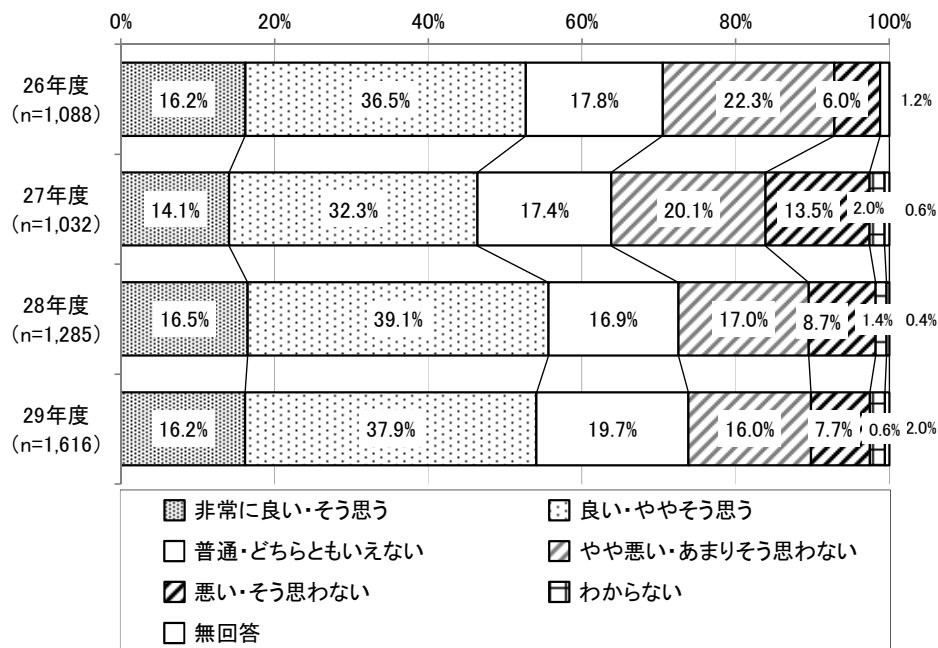
- (14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。
- (15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている。
- (16) 乳幼児を連れた親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。
- (17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。
- (18) 防犯や事故防止の観点から、子どもが安心して利用できる公園・児童遊園が整備されている。
- (19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。



基本目標4の評価は、「(14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している」が3.40点で最も高く、「(15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている」が2.53点で最も低くなっています。

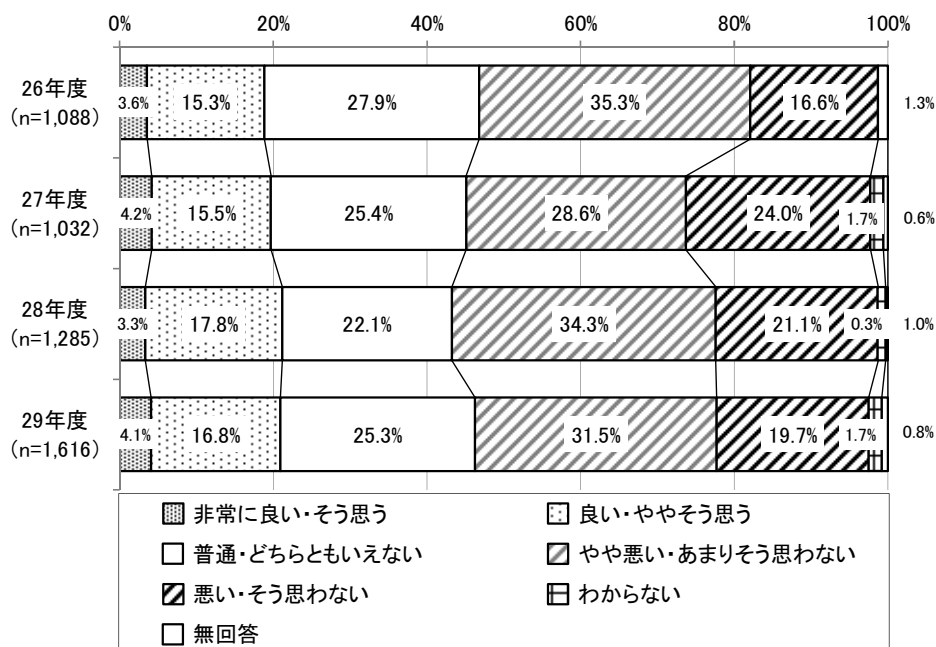
基本目標 4. あんしん子育て！に関する質問【経年変化】

(14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、過半数を占めています。  
 なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

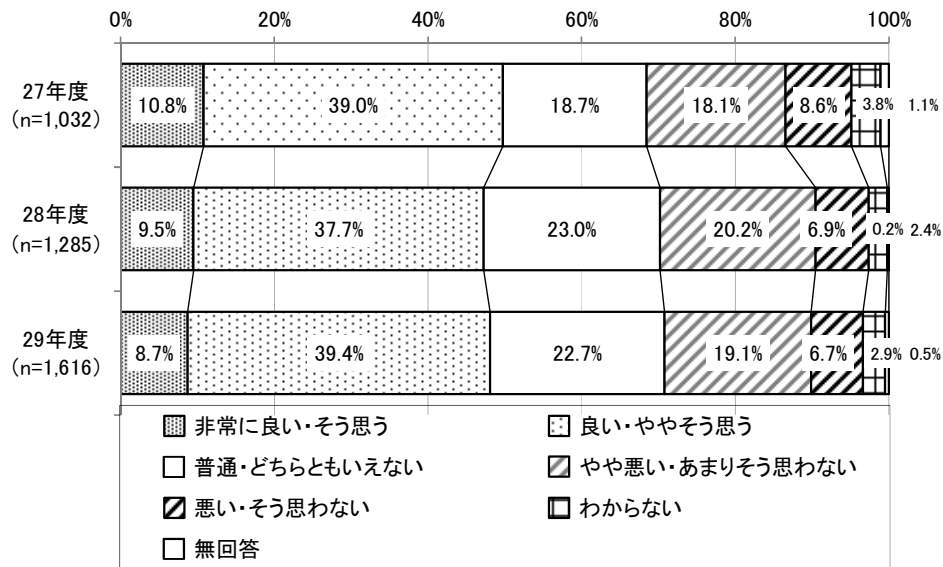
(15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、概ね 20%程度で推移しています。

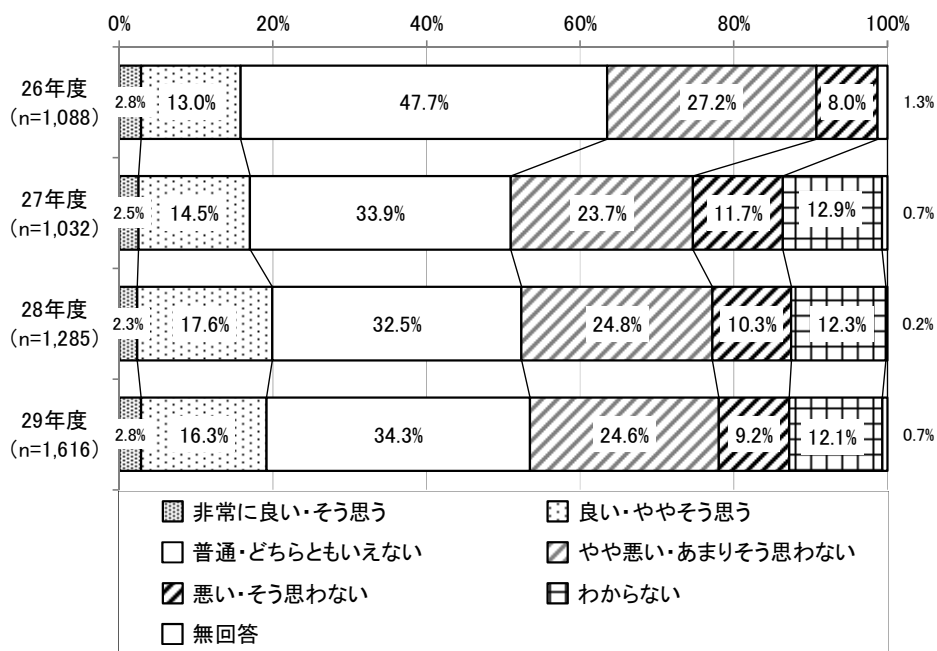
なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

(16) 乳幼児を連れて親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。



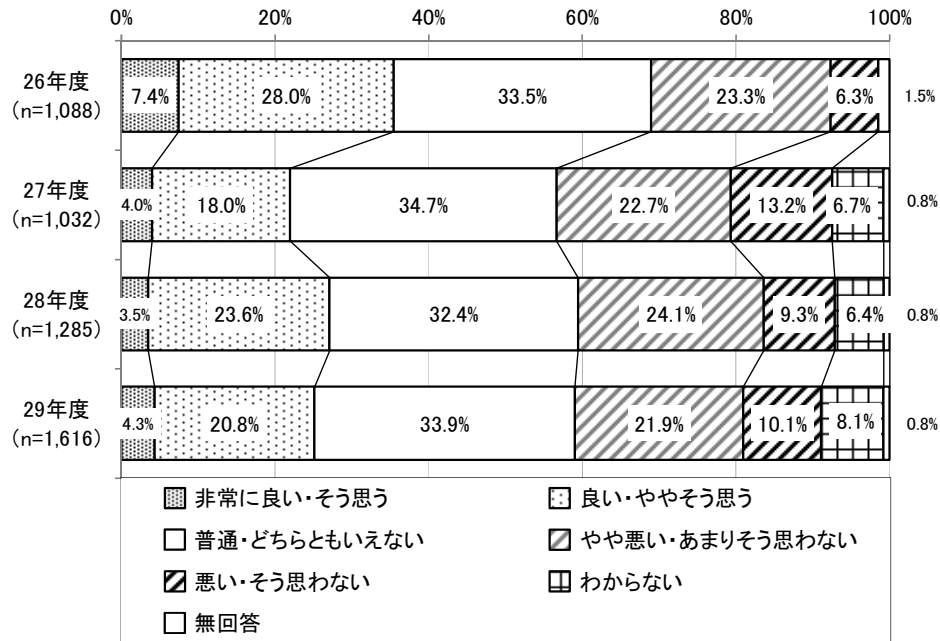
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は約 48%となっています。  
 なお、この設問は平成 27 年度新規質問項目のため、平成 25 年度～平成 26 年度は調査を行っていません。

(17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。



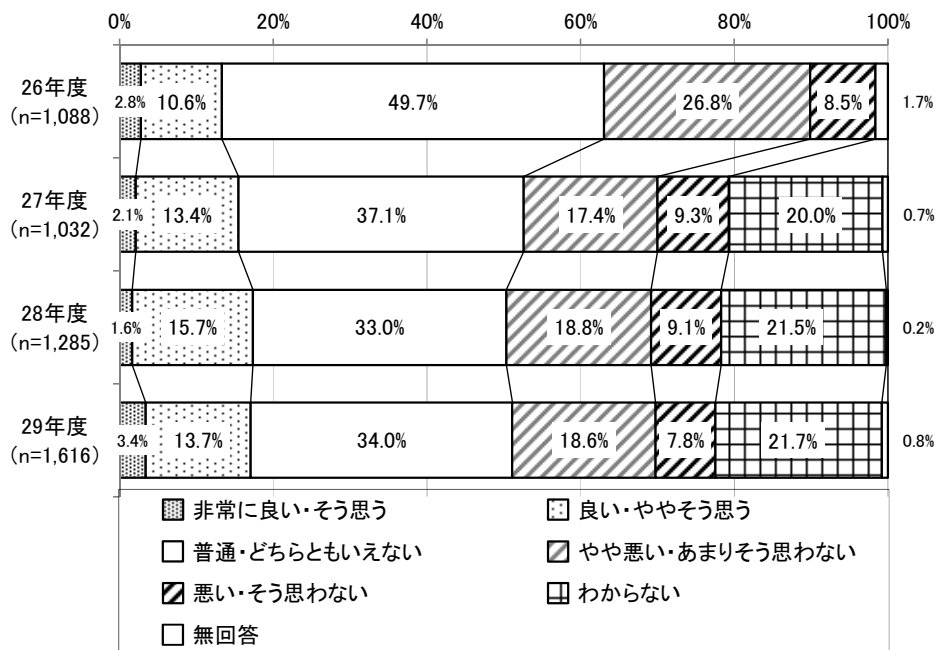
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、平成 27 年度以降漸減傾向にあります。  
 なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

(18) 防犯や事故防止の観点から、子どもが安心して利用できる公園・児童遊園が整備されている。



「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、平成 27 年度以降漸減傾向にあります。なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

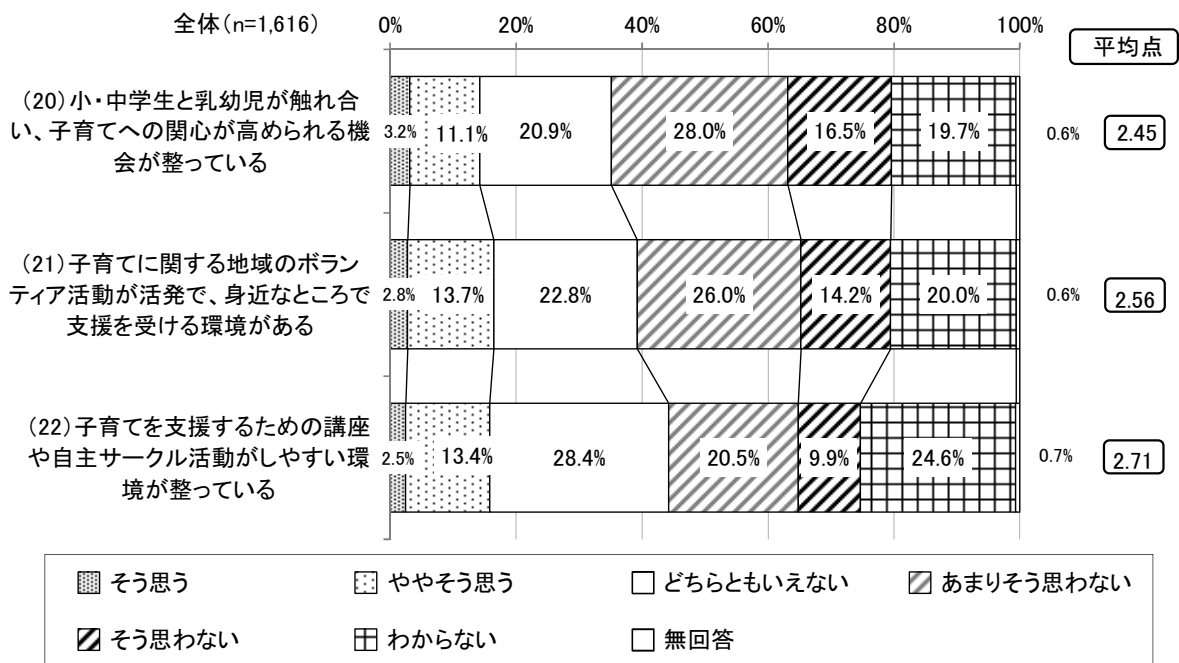
(19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。



「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は 26.4%で、昨年度より微減しています。なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【全体】

- (20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。
- (21) 子育てに関する地域のボランティア活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境がある。
- (22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。

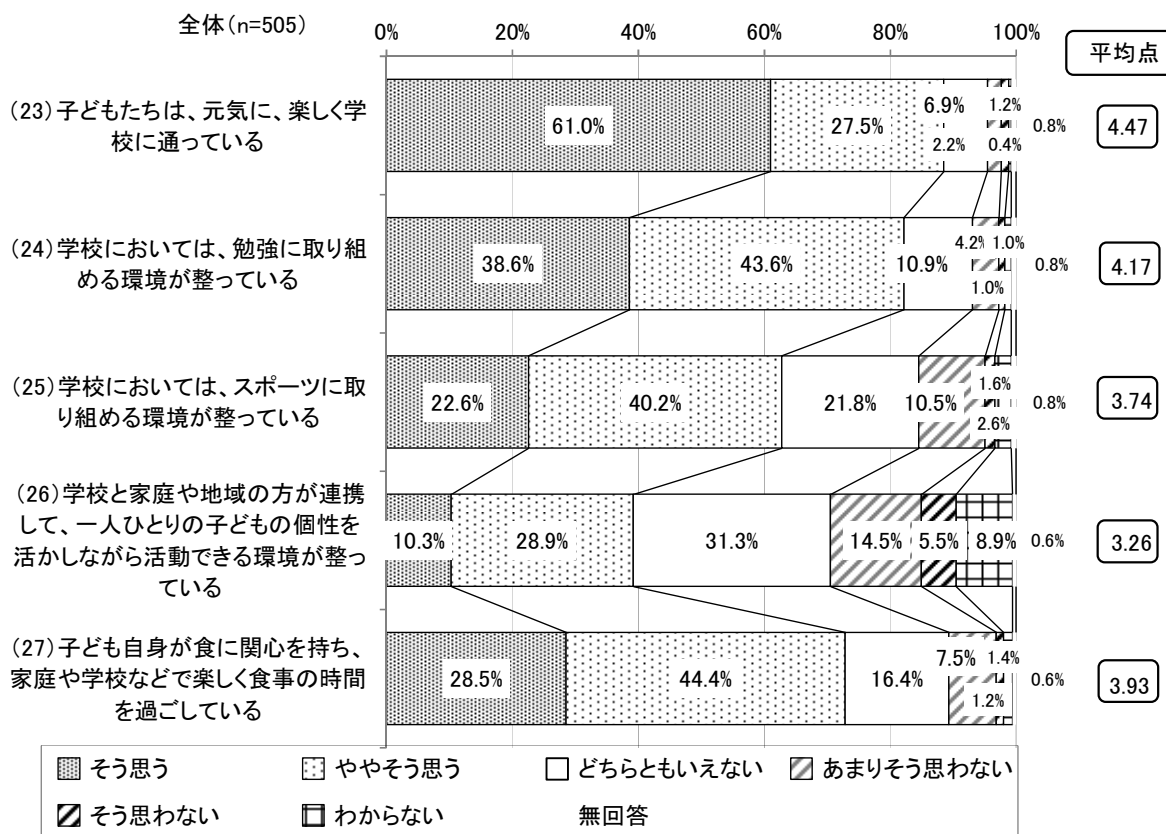


基本目標5の評価は、「(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている」が2.71点で最も高く、「(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている」は2.45点と、最も低くなっています。



※ (23)～(27)は、小学生以上のお子様がいる保護者の方にお尋ねします。  
小学生以上のお子様がない保護者の方は(28)にお進みください。

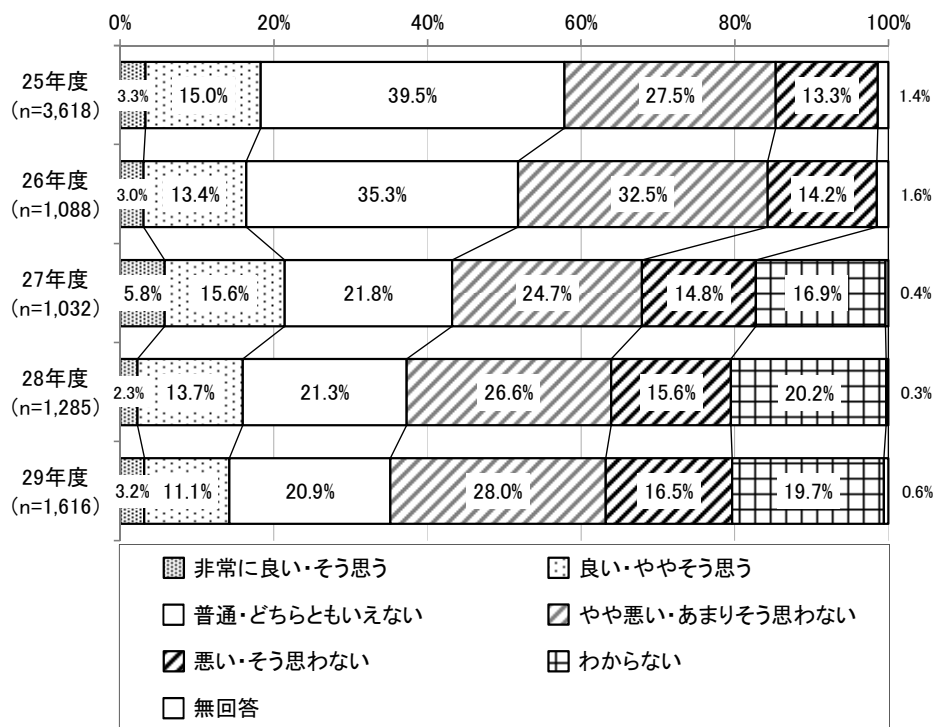
- (23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。
- (24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。
- (25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。
- (26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。
- (27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。



基本目標5で、小学生以上のお子様がいる保護者に尋ねた評価は、「(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている」が4.47点で最も高く、「(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている」は3.26点と、最も低くなっています。

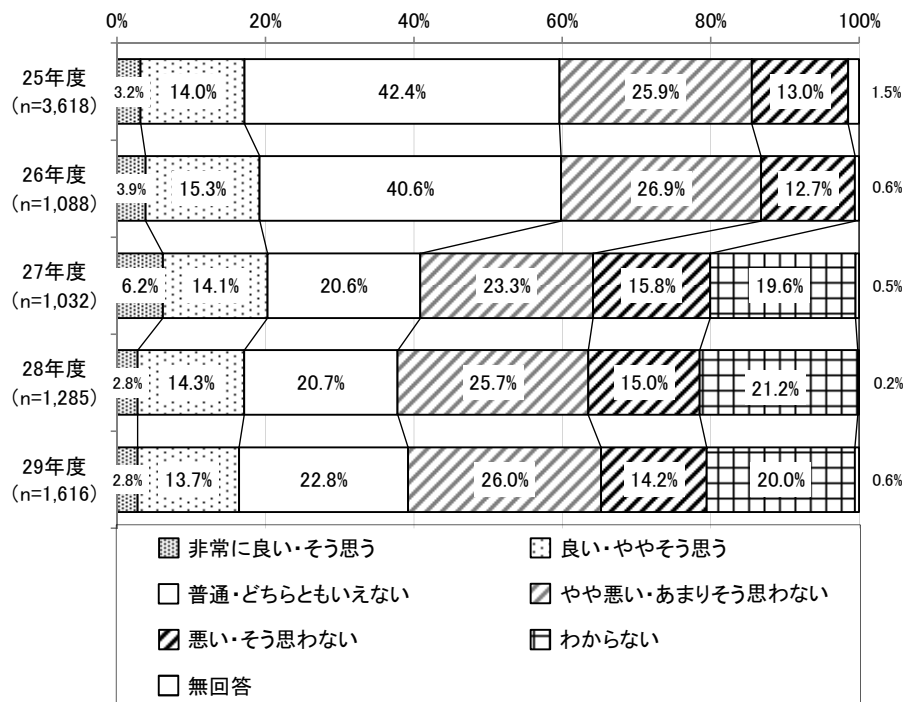
基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【経年変化】

(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。



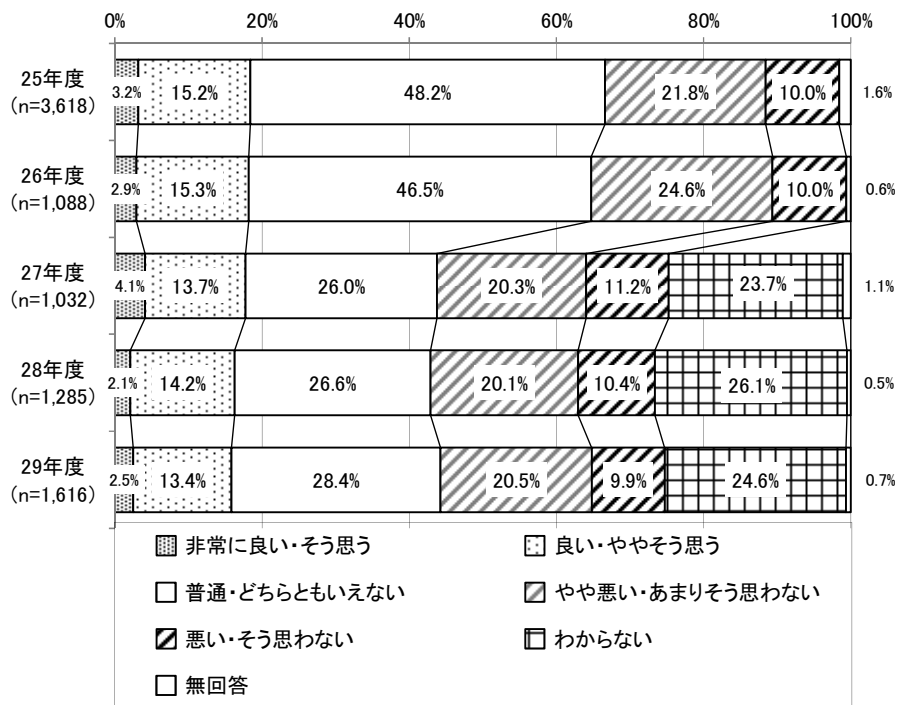
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、昨年度より 2.3 ポイント増加しました。

(21) 子育てに関する地域のボランティア活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境がある。



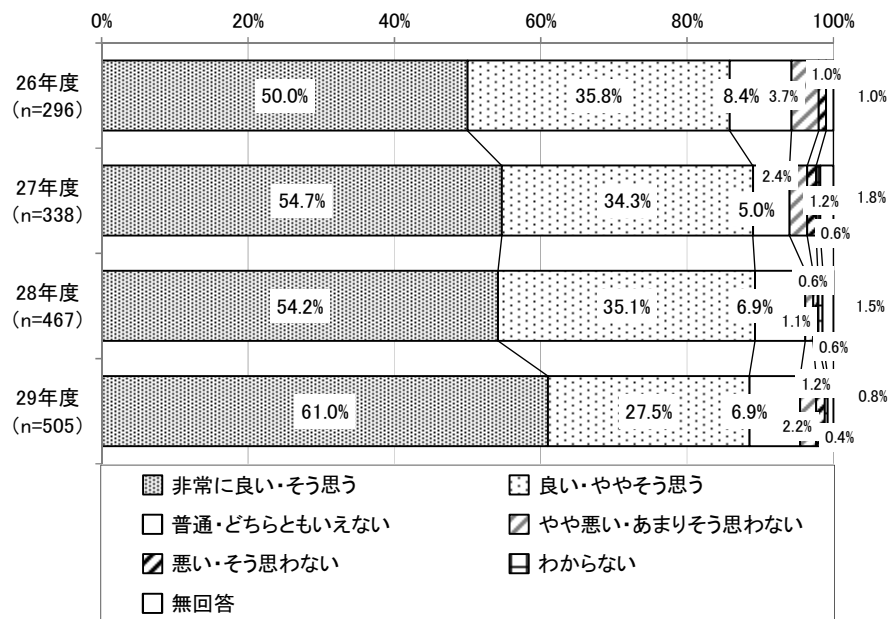
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計より 23.7 ポイント少なくなっています。

(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。



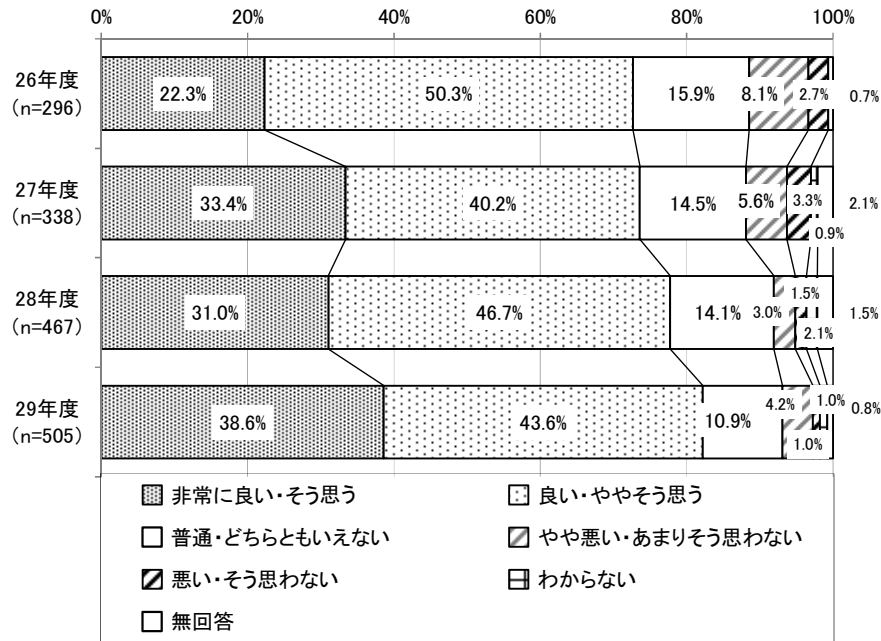
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、平成 26 年度以降漸減傾向にあります。

(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。



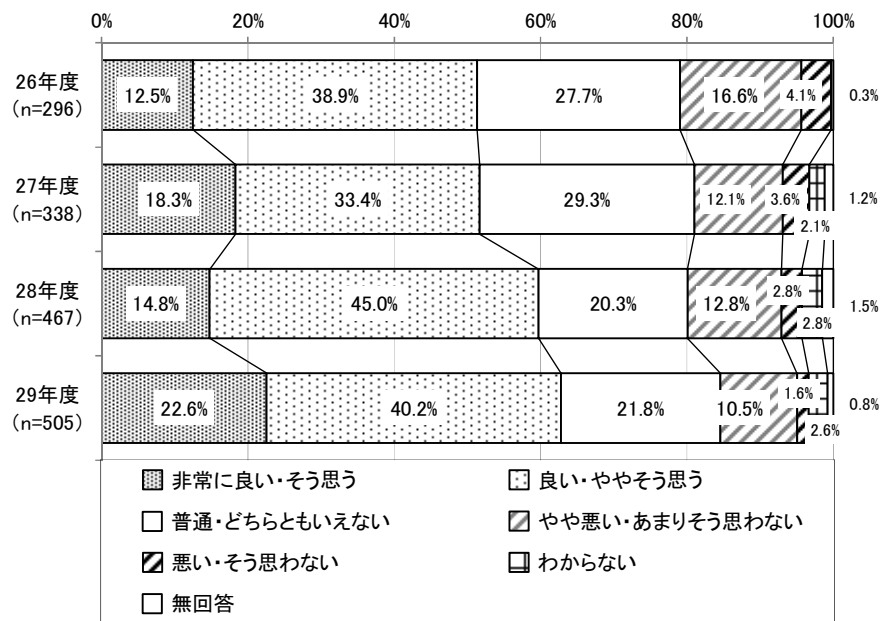
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は約9割を占めています。なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

(24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は8割以上となっています。  
 なお、平成25年度はこの項目の調査を行っていません。

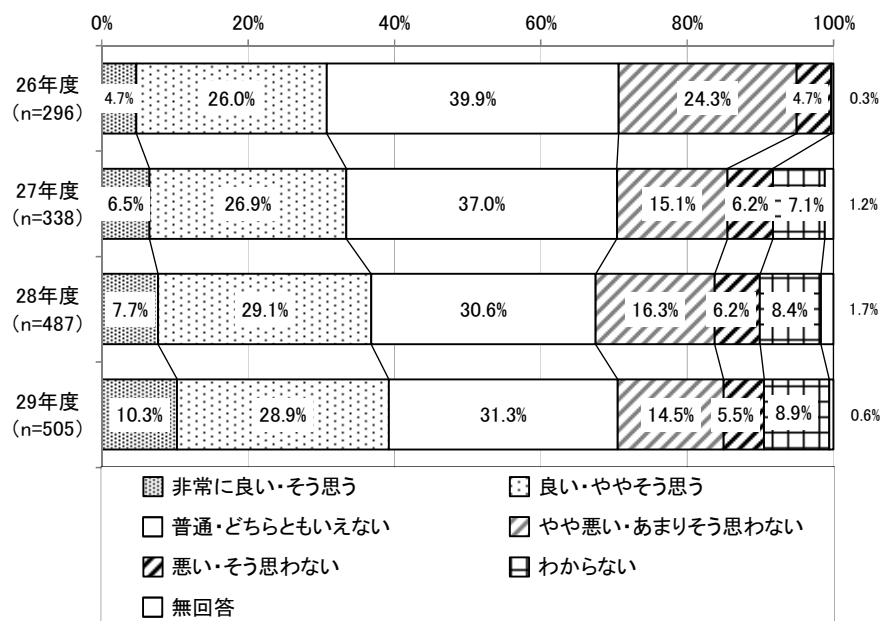
(25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は、平成28年度と比べて3.0ポイント増加しています。

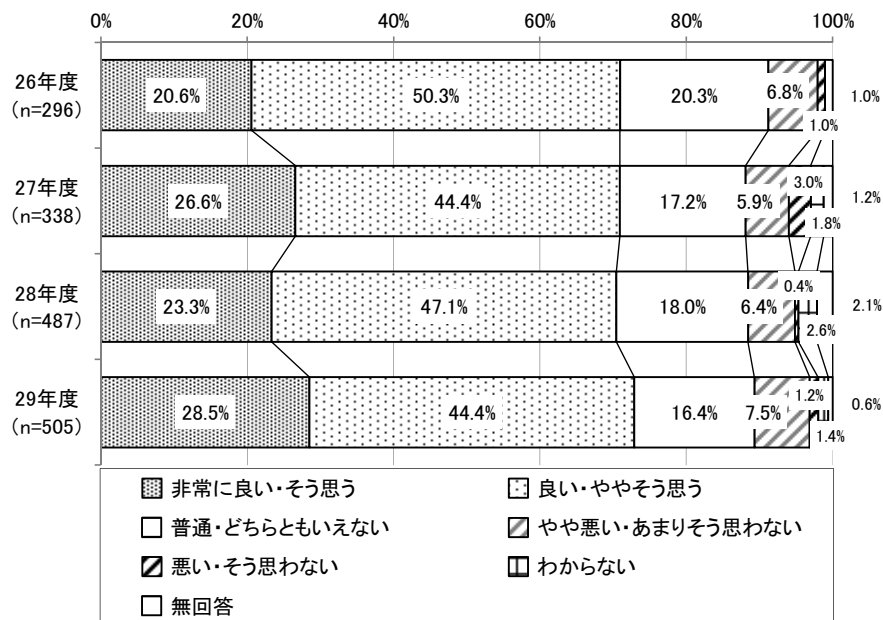
なお、平成25年度はこの項目の調査を行っていません。

(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が、「悪い・そう思わない」「やや悪い・あまりそう思わない」の合計を 19.2 ポイント上回っています。  
 なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

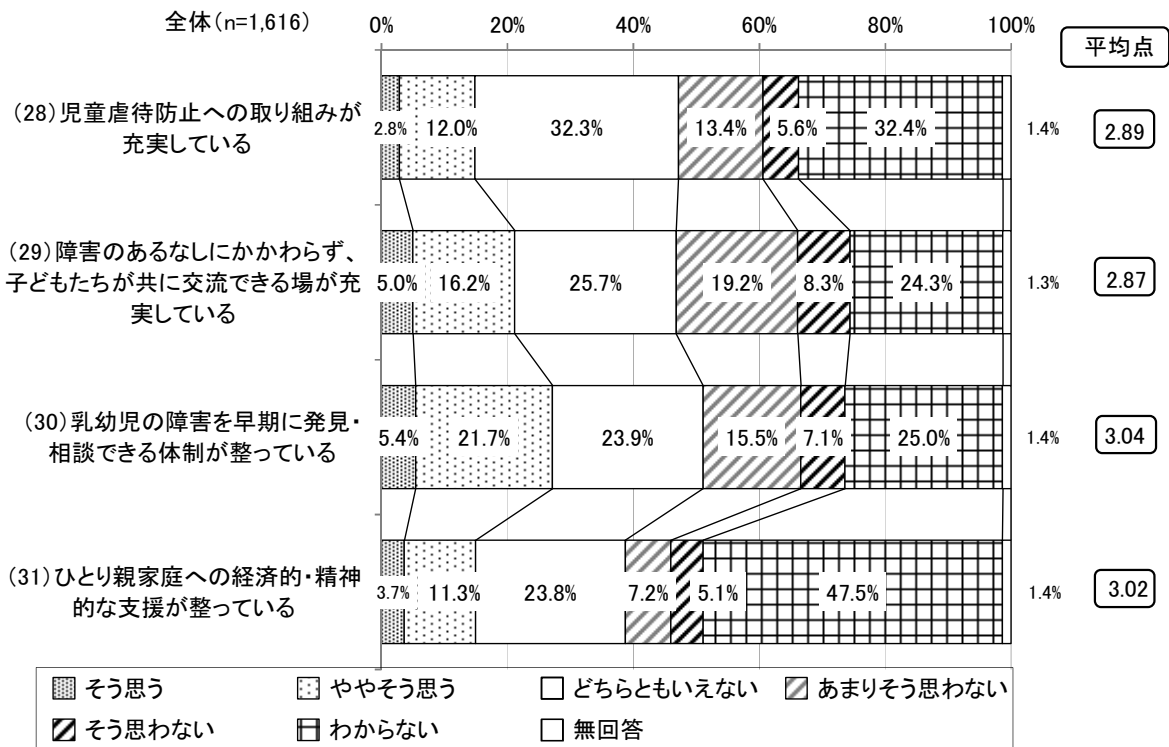
(27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が、「悪い・そう思わない」「やや悪い・あまりそう思わない」の合計を大きく上回る状態が続いています。  
 なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

基本目標6. つながる子育て！に関する質問【全体】

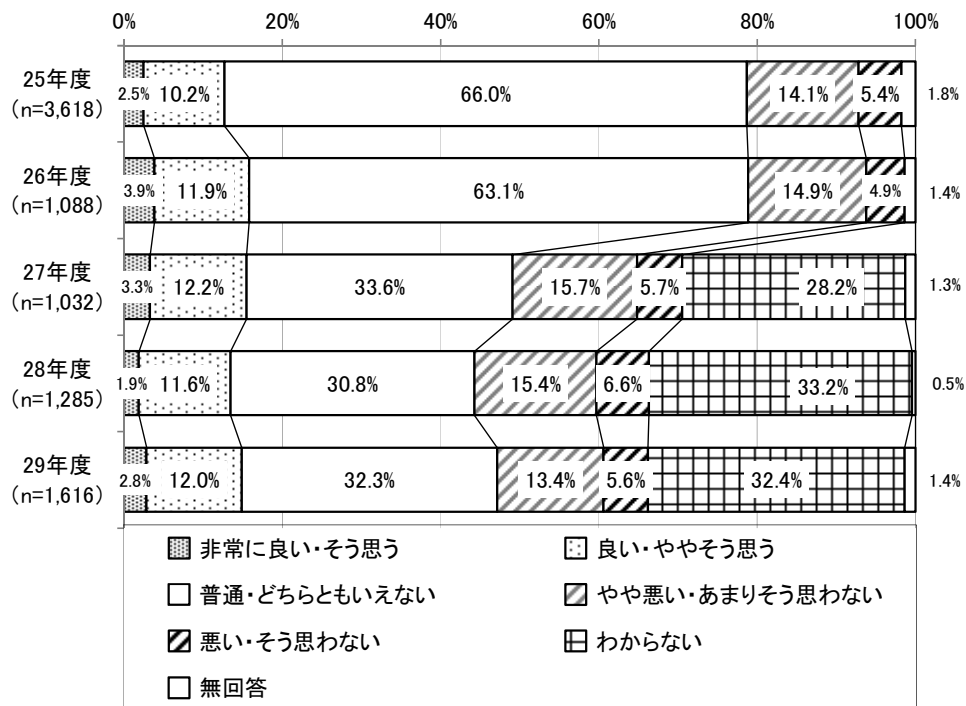
- (28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。
- (29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。
- (30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。
- (31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。



基本目標6の評価は、「(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている」が3.04点で最も高く、「(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している」は2.87点と、最も低くなっています。

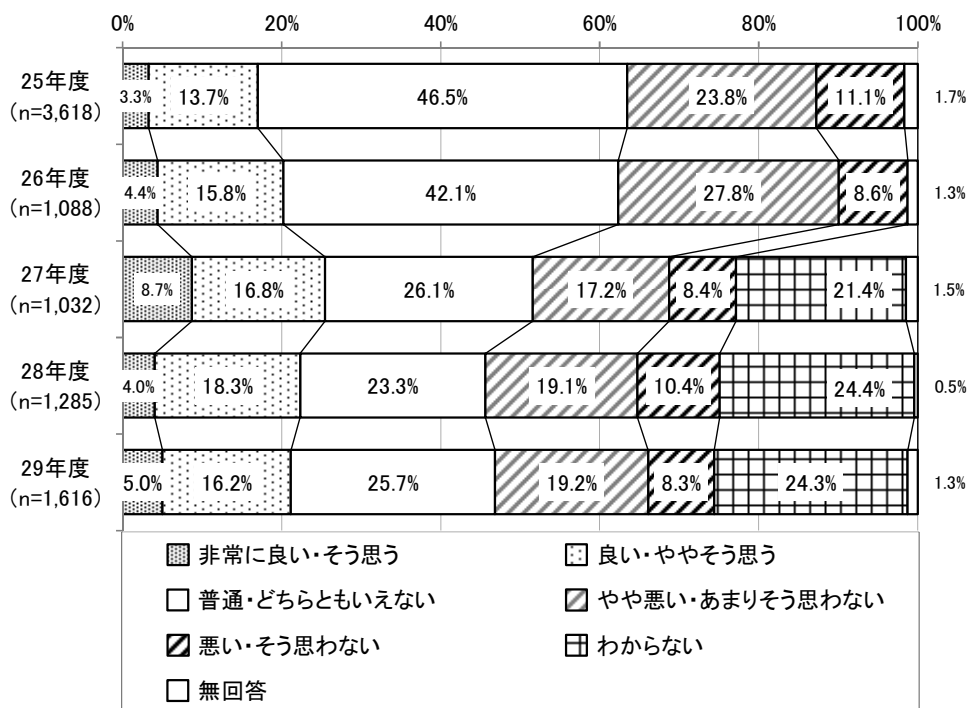
基本目標6. つながる子育て！に関する質問【経年変化】

(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。



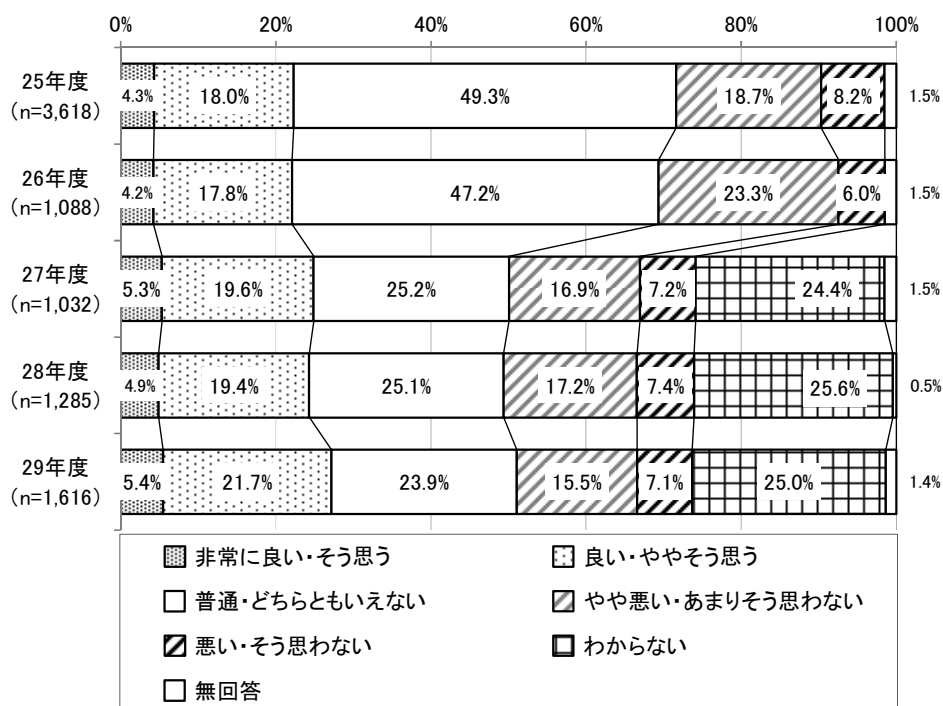
「悪い・そう思わない」「やや悪い・あまりそう思わない」の合計は昨年度から 3.0 ポイント減少しています。

(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。



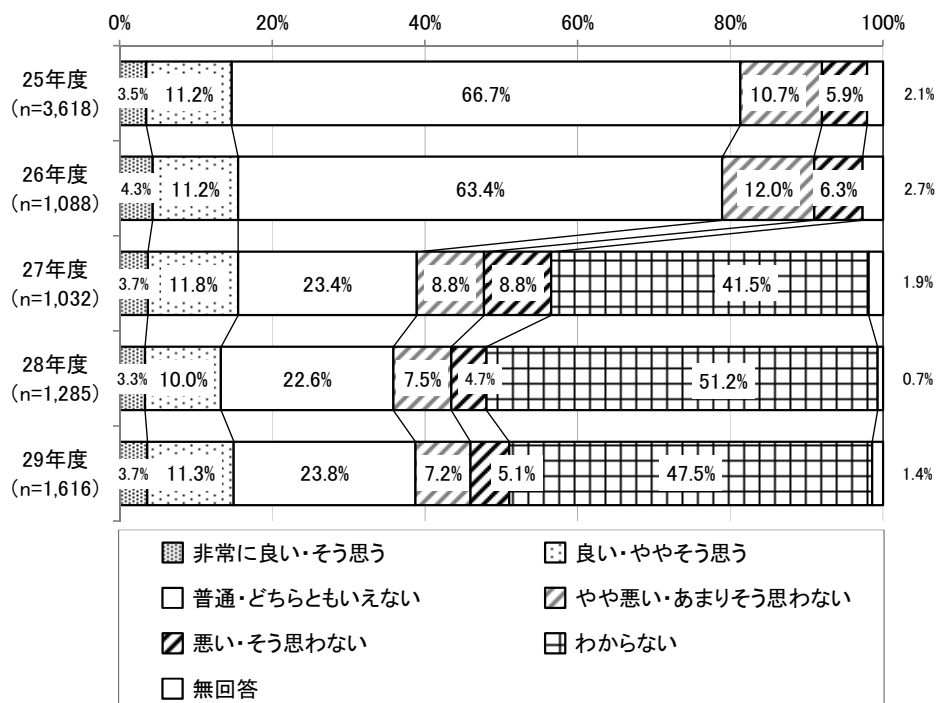
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計は、昨年より 2 ポイント減少しています。

(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度から約3ポイント増加しています。

(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。



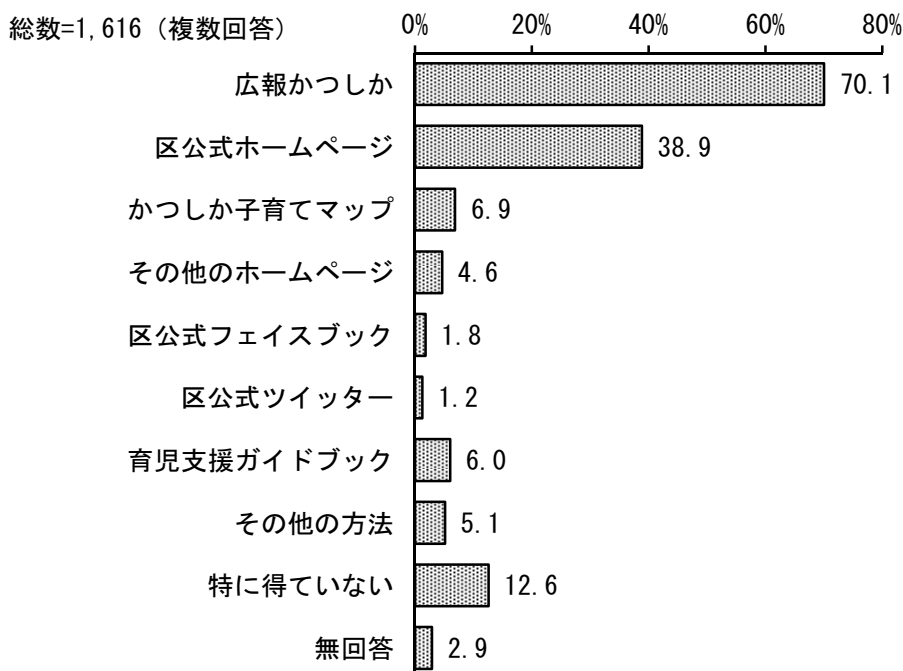
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は15.0%で、ほぼ横ばいです。



V. 子ども・子育て支援に関する情報提供について伺います。

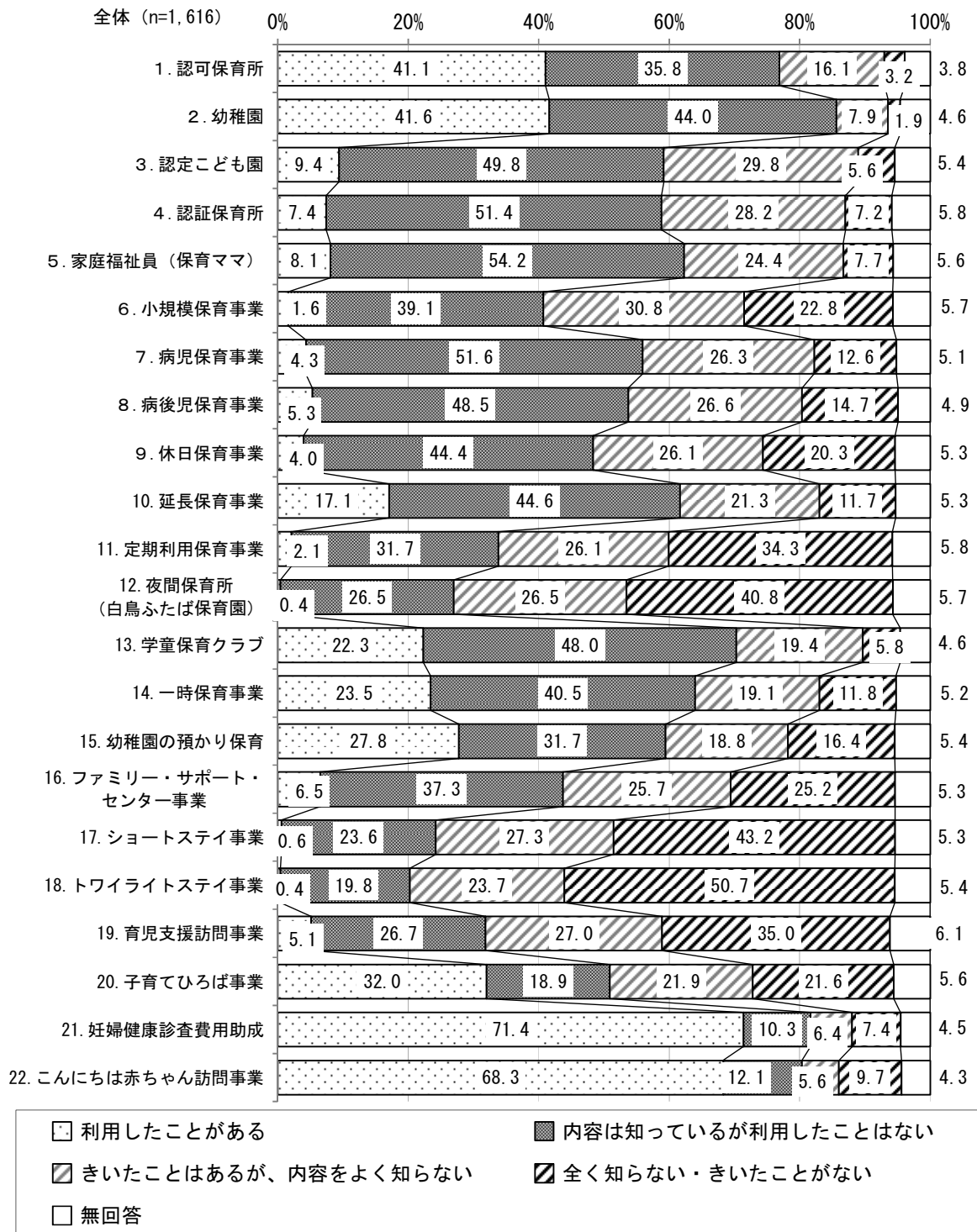
(32) 子育てに関する区の情報をどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                  |              |              |
|------------------|--------------|--------------|
| 1.広報かつしか         | 2.区公式ホームページ  | 3.かつしか子育てマップ |
| 4.その他のホームページ ( ) | 5.区公式フェイスブック |              |
| 6.区公式ツイッター       | 7.育児支援ガイドブック | 8.その他の方法 ( ) |
| 9.特に得ていない        |              |              |



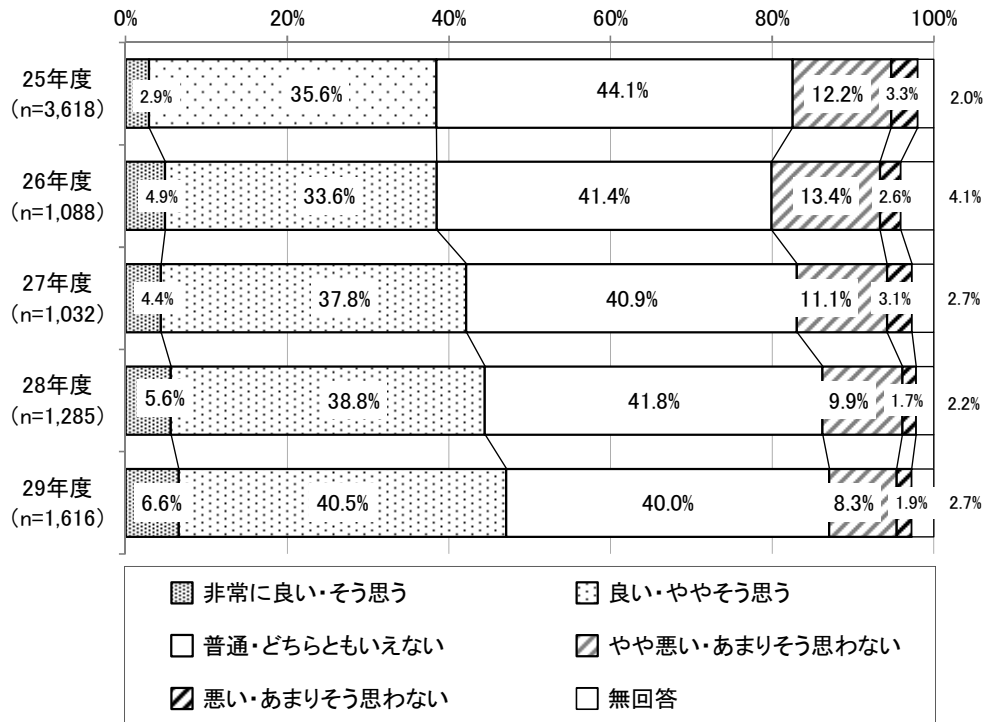
子育てに関する区の情報の入手先は、「広報かつしか」が70.1%で最も多く、次いで「区公式ホームページ」が38.9%でした。その他の媒体はいずれも10%未満となっています。

(33) 区で実施している子ども・子育て支援に関する事業を知っていますか。



区で実施している子ども・子育て支援に関する事業について尋ねたところ、「妊婦健康診査費用助成」では71.4%が、「こんにちは赤ちゃん事業」では68.3%が「利用したことがある」と回答しています。一方、トワイライトステイ事業では「全く知らない・聞いたことがない」が過半数を占めたほか、「ショートステイ事業」、「夜間保育所」でも「全く知らない・聞いたことがない」が4割以上となっています。

(34) 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。  
【経年変化】



総合的な評価は、「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が 47.1%、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・あまりそう思わない」の合計が 10.2%となっています。

## 子育て支援に関する意見・要望

それぞれの意見・要望を、区の子育て支援の「基本目標」に従って分類し、主な意見をまとめました。なお、文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っています。

### 基本目標1 のびのび子育て！

- 0～3才までは児童館や児童館の先生達に大変お世話になった。実家が遠いため、孤独な育児生活をのりこえられたのは児童館のおかげ。幼稚園の補助金も本当に助けられている。
- 「赤ちゃんの駅」はとても助かる。どんどん増やしてほしい。
- 子供が0才の頃から子育てひろばや児童館を利用し、一時保育や育児相談などでもサポートを様々受けられていると実感しており、非常にありがたく思っている。
- 産後健診は非常にありがたい。女性特有の病気だけでなく、消化器系や精神的に気になることがあっても、そういうきっかけがないと不安になるばかり。
- 学童保育について。祖母に、「家に祖父母がいる場合は点数が低くなるようだが、高齢者にも自分の時間が必要。体力もおちている中、これ以上無理させないでほしい」と書くように言われた。『家族みんなで子育て』という聞こえはいいが、ひずみが生じている。
- 保育園について。募集段階で提示されているサービス内容と実情とに差があり、戸惑っている保護者が多いと思う。
- 学童保育で、一旦出てしまうと戻れないため、長期休み（夏休み等）で、日中の習い事に出掛けると終わった後行き場がない。学童であっても、出入りをきちんと連絡すれば、習い事へも行けるようにしてほしい。
- 情報を得られない人、知っていてもその場へ行く時間や気持ちを持ってない人が沢山いると思う。そういう方が一番子育てを大変に思っているのではないか。ハード面の整備は充実してきているが、ソフト面をサポートできる仕組みづくりがこれから必要なのではないかと思う。
- 保健センターの育児相談はよく利用しているが、ハードルが高くて利用しにくい。一度利用したが相談員の態度や回答に納得できず、以降使っていないという話も聞く。
- 子育て支援＝乳幼児、小学生以下という印象で、小学生以上の計画などがあまりされていない気がする。
- 子育てひろばは基本的に明るくルール作りも整っており、清潔さが保たれている。一方で児童館はどうしても暗い・古い・やや汚い。
- 保育所は保育時間が長く仕事しやすかったが就学するととても大変。「葛飾区は“小1、小3の壁”がない」と子育て世帯に感じてもらえる支援をすればアピールになるのではないか。
- 今まで通っていた幼稚園が子ども園となり、仕事を持つ自分としては大変助かっている。小学校では学童保育にお世話になる予定だが学年が上になると入りにくくなるという現状が心配。保育所の待機児童については非常に大きくクローズアップされているが、どうか学童保育についても、更にご支援をいただきたい。
- 買物やリフレッシュ、兄弟の幼稚園の行事で保育園やこども園の一時預かりを利用しているが、空きがなく予約がなかなか取れなくて困る。
- 良質な保育を求めるとなると幼稚園は経済的・時間的にハードルが高い。「幼」と「保」の差（教育、金額）を小さくしてほしい。認定こども園を増やしていただくとひとつの解決策になると思う。
- 幼児・学齢期の切替え時に保育と教育の連携を上手く繋げてもらいたい。事業の主旨を理解する職員とそうでない職員の温度差や技量の差が大きい。配置転換の度に情報や支援がリセ

ットされるので、総合的に質が保たれるように人員配置をしていただきたい。また、職員の得意分野の可視化をお願いしたい。相談する相手を選択する目安になる。

## 基本目標2 すこやか子育て！

- 超未熟児の子の母で、区にはとても手厚く支援して頂いている。0才児だった頃、病院で適切な治療や経過観察をしてもらっていたものの、私自身は子について話ができる場がなく、孤独を感じていた。保健師さんによる「こんにちは赤ちゃん訪問事業」で1度来て頂いたが、初対面だったのであまり話すことが出来なかった。今後そういう方に対しては、2、3回、訪問や電話で話すなど、心のケアをしてあげてほしい。
- 5歳児健診の取り組みは良い取り組みだと思ったが、不安に思うことを記載しても、あきらかな発達障害以外に結果報告がなく、また区全体の統計等も発表していないので、健診の意味がよくわからなかった。
- 子育て相談の電話に関して。フリーダイヤル、もしくは担当者からの折り返しにしてほしい。相談したとき、電話代がかかるので本当に聞きたいことを聞けずに電話を切ったことがある。
- 近くに預けられる人がいないため、病気の時の保育施設を増やしてほしい。
- 妊娠期から医療機関と連携し、積極的に虐待予防などに取りくむ仕組みづくりをするべき。
- 離乳食講座があったが一回のみで分かりづらかったので、初期、中期、後期とそれぞれ講座があるとありがたい。
- 健康プラザかつしかで親子で保健師さんに診てもらったが、保健師さんから強い言葉で子供とのかかわり方をアドバイスされた。年配の保健師さんに言われたあれこれが忘れられず、もっと言葉をえらんでアドバイスして頂きたい。(若いお母さんのためにも)
- 保健師さんから紹介された相談窓口へ電話したが、対応された方は何も支援できない、何も方法がないと言われ、とても困った。相談窓口として設けるのなら方法がないで終わらず、他機関へつなぐなど、形だけの窓口にしないでほしい。
- 支援機関や場所、機会は多くあると感じるが、育児うつで追い込まれて初めてそれらについての情報を得ることができたので(パートナーが調べてくれる、病院で案内をされる、健診で保健師から聞く)、妊娠中から知りたかった。出産すると、HP や情報誌を見る暇が無い。無い人程、追い詰められている。
- 本当に子育てで切羽詰まった時には、区の情報を見つけることが出来る精神状態ではないと思うので、出産前に区の子育ての取組み(サポート)を紹介する講座を行うと、切羽詰まる前に相談する場所があるという安心感が持てるのではないか。

## 基本目標3 いきいき子育て！

- 会社の規定でせつかく育児休暇を長く取得できるのに、0歳保育が主流になっているため、なくなく0歳に預ける方が多い。
- 出産入院の時、上の子の預け先が公的にあるとか、しあわせサービスのサポーターが確保されているとか、産後のヘルパーがもっといたら、もう1人産もうかとも思える。
- 休日に利用できる室内遊戯場があると父子が関われる場所が広がるのではないか。
- 認定こども園の幼稚園は、一週間昼頃の時間を使って(一週間午前中仕事を休まないといけない)引率したり、朝の交通整理や平日の行事に参加したり、平日仕事を休まないといけないことが多く、会社で働きづらくなっている。
- 学童クラブで夏休みなどの間 8:30 からだと勤務開始時間に間に合わず、近所の人に頼むか、会社を遅刻せざるを得ない。せめて8:00から受入れできるようにしてほしい。

- 公立の学童保育クラブの保育時間を増やしてもらいたい。現状は 18 時までであるが、仕事を終えてから 18 時までには帰宅することができないため、延長保育が可能な私立しか選べない。
- 正社員の方だけではなく、パートタイムで働く母にも認可保育所の利用が広くできるとよい。
- 専業主婦への支援も働く母親と同じレベルで考えて欲しい。
- もっとボランティアなど人を使って、または設備で、登下校を安心して行えるようにしてほしい。

#### 基本目標4 あんしん子育て！

- 公園がいつもきれいにされていて有難い。公園にオムツ交換台やベビーキープくらいは必ず設置していただくと助かる。
- 公園なのに、サッカー、野球等のボール遊び禁止の所をよく見かける。子供達がのびのびとボールで遊べる場所がない。
- 公園の遊具が古く、幼児には危険なものがあると感じる。
- 吸い殻が落ちていることや煙が気になるので、公園を禁煙にしてほしい。歩きたばこも多くの危険。
- 今年度は認可保育園がいくつか新設され枠が広がり、助かった人も多いと思う。
- 予約入園について、1才では授乳も終わっておらず離れがたいので、1才半ごろの予約があるとよい。
- 児童館のランチスペースに、乳幼児が食事ができるようなイスがほしい。トイレの1カ所でもいいので、子供と一緒にトイレに行けるよう、ベビーキープがほしい。乳幼児に温かい食事があげられるよう、レンジを入れてほしい。
- 公立の小学校の情報がほしい。登校班、特色、力を入れていることなど。
- 子どもが少ない時代、公園などで遊ばせていると近所の方に怒られることが多い。
- 赤ちゃんの駅が増えていると言うが、どこにあるのか分からないし何を見たらその赤ちゃんの駅の情報が分かるのか知らない。
- 立石駅の下りホームにエレベーターをつけてほしい。
- 通学路や保育所周辺の道など、車の出入りを制限する時間帯などを設けてほしい。
- 歩道の幅が狭く、拡張してほしい。ベビーカーで通りづらいためと、自転車利用者が多く、危険なため。

#### 基本目標5 みんなで子育て！

- 保育園では毎日お迎えで職員と話ができる。こちらの意見を届ける方法もきちんと伝えられていただけでなく、行事ごとにアンケートがあり、全てでなくてもこちらの意見や要望が聞いてもらえ、なぜできないのか回答もあり、本当に安心して預けられた。小学校では学校公開ごとのアンケートもなく、自由意見できる場が全くない。
- 小・中・高で、妊婦さんや赤ちゃんと定期的に触れ合える授業や時間がもっと増えると良い。
- 葛飾区の特徴を生かして、お年寄りや幼児や小学生が交流できて、平和な葛飾区をアピールしていったらよいのではないかと思う。
- 子育てボランティアの方がとても良くなってほしい。もっと支援してあげてほしい。区はボランティアさんのように一番親身に相談してほしい母親に対して、まだ支援が足りないと思う。
- 母親同士がもっと交流出来る場があれば嬉しい。子供同士でも交流出来たら嬉しい。

- 7～8年前にファミリーサポートの支援を頼むため相談に行ったところ、「ボランティアなので人手が足りてない」「新小岩エリアは今受けられない」と非常に冷たい対応をされました。区の事業として広く知らせている以上は、それなりの対応（今は人がいないが、補充できたら連絡をくれるなど）をすべきと思う。また、ボランティアで行うのではなく、有償でも預かってもらえる事業があれば預かってほしい。

## 基本目標6 つながる子育て！

- 子どもの発達に少し遅れがあり、現在も療育に通わせている。子ども総合センターへとお世話になることになったのですが、発達の悩み、相談に関して、総合センターの方が色々詳しく専門的な話や相談にのってもらえたような気持ちになり、安心した。保健センターと総合センターとの連携をもっと早めにして頂けていれば、もう少し不安を誰かにほり下げて話せていたのかなとふり返って思う。
- 我が子のように療育に通う児童をまだあまり療育の場以外で関わりがないので、同じような悩みを抱えたご家族や子の交流の場がほしい。
- 区の発達支援センターで療育を受けているが、両親共に働いているため、土曜日の療育しか受けられず、希望しても望んだ支援を受けられなかった。働いている家庭であっても平等に発達の支援が受けられるようにしていただけたらと思う。
- 障害のある子（支援学級に通う知的障害のある子など）と小さい頃から混ざって遊べる場が少ないように感じる。支援学級のある小学校は限られてしまうので、支援学級のない小学校へ通う子は、知的障害のある子たちをあたり前にいる子だと思にくいのではないかな。
- 特別支援学級に通う息子をもっている。小学校までは児童デイの補助も含めて充実していると思うが、その分、中学校・高校が不安。その先、大人になってからの自立を見通した全体的な支援、わかりやすいガイドがほしい。
- 発達障害や発達遅れのあるグレーゾーンの子達の施設や病院との連携がとれていないため、子育て相談があっても、知りたい情報は、結局自分で調べなければならぬためにとても苦労する。受けたい検査をするにも、遠出をしなければ受けることが出来ない。小児科、皮膚科、発達障害、耳鼻咽喉科、歯科、の子どもが安心して通える病院と臨床心理士による療育と相談とサポートの充実をしてほしい。
- 母子家庭では一時保育・病後児保育などに預けたくても利用料が高すぎて預けられない。自分が働く意味がない。どうしても休めない時も安心して子育てが出来ない。
- 幼稚園にいる時に保健所の方が定期訪問し、担任の先生と言葉の発達が少し遅いと指摘があった。専門の方からの視点を知ることができたので、とても良かった。小学校でも積極的に保健所など外部から子供達をみて頂きたい。
- 障害児へのフォローが少ない。健診でひっかかっててもフォローがないのはうちだけではない。

## その他

- 子供を育てにくい社会だと感じる。公共施設、電車、レストラン、どこに行くにも事前に子供と一緒に大丈夫か確認し、ビクビクしながらの外出。『赤ちゃん＝迷惑がかかる』、そんな風に考えないで過ごしたい。海外に子連れで訪れると、赤ちゃんにやさしく、日本との違いを痛感する。
- 周りに2人、3人と子供を持つ家庭がとてもたくさんいる。多子世帯としてたくさんの制度を利用させていただいた本当に私も周りも感謝している。今後も安心して生活できるよう、区に期待したい。